

Izumi KATO

Richesse,

京都「両足院」でボスコ・ソディと加藤泉、ふたりのアーティストによる展覧会を11
月2日より開催

October 2024

京都「両足院」でボスコ・ソディと加藤泉、ふたりのアーティストによる展覧会を11月2日より開催

会期中は「両足院」主催のティーセレモニーや特製「健康御守」の限定販売も

京都「両足院」にて、メキシコ出身のBosco Sodi（ボスコ・ソディ）さんと日本出身の加藤泉（かとういづみ）さん、ふたりのアーティストによる展覧会が、アートフェア「ACK（Art Collaboration Kyoto／アートコラボレーションキョート）」の会期に合わせて11月2日（土）から期間限定で開催。長年にわたり関係を築いてきたふたりが、自身で企画した初めての展覧会です。晩秋の風景に彩られた「両足院」が、特別拝観としてオープンする貴重な機会をお見逃しなく。

メキシコと日本ふたつの国のアーティストによる展覧会「黙：Speaking in Silence –Bosco Sodi & Izumi Kato」



©2024 BOSCO SODI / ©2024 IZUMI KATO / PHOTO : MITSURU WAKABAYASHI / COURTESY OF EXECUTIVE COMMITTEE, "黙: SPEAKING IN SILENCE" EXHIBITION. INSTALLATION VIEW AT RYOSOKUIN ZEN TEMPLE, KYOTO, JAPAN

アーティストのボスコ・ソディさんと加藤泉さんが2007年に知り合ってから深い交友関係から立案された展覧会「黙：Speaking in Silence –Bosco Sodi & Izumi Kato」が、京都の建仁寺の塔頭寺院である「両足院」にて開催。お互いの出身地であるメキシコと日本は地球の反対側に位置し、ふたりの作風も一見対照的なようにも見えますが、実は自然観や死者に対する思想、[プリミティブ](#)な信仰など両国の文化には共通点も多いといいます。そんなふたりが本展のために制作した約30点の新作が展示されます。

由緒ある「両足院」の建築やランドスケープを活かした展示



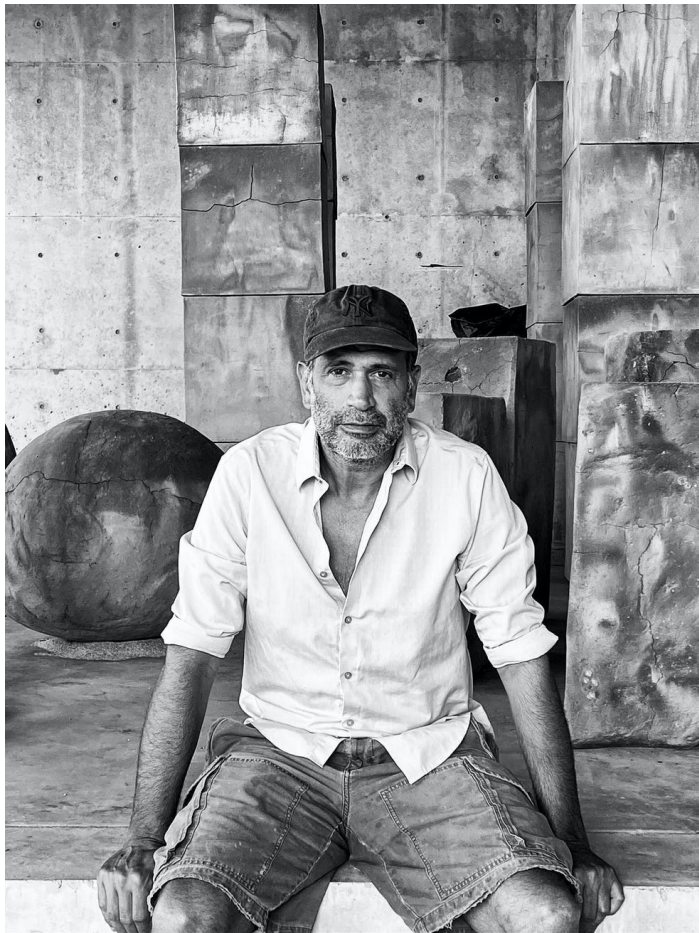
©2024 BOSCO SODI / ©2024 IZUMI KATO / PHOTO : MITSURU WAKABAYASHI / COURTESY OF EXECUTIVE COMMITTEE, "黙: SPEAKING IN SILENCE" EXHIBITION. INSTALLATION VIEW AT RYOSOKUIN ZEN TEMPLE, KYOTO, JAPAN

通常は法要や坐禅が行われている方丈や、かつて僧侶が書斎などとして使用していた大書院、そして京都府の名勝庭園に指定されている池泉回遊式庭園など、由緒ある寺院建築やランドスケープを活かしたインスタレーションを展開。同展会期中は庭園内にある大村梅軒好みの茶室「臨池亭」にて、「両足院」主催のティーセレモニー（少人数制）も開催予定です。通常は非公開の茶室で、アーティストたちの作品を鑑賞しながら特別な一服を楽しんでみてはいかがでしょうか。

アーティストとコラボしたオリジナル「健康御守」を限定販売

今回「両足院」初の試みとして、特製の「健康御守」をアーティストと共作。本展を観覧する方の健康を祈願し、ボスコ・ソディさんと加藤泉さんのアートワークを取り入れたオリジナルデザインのお守りが数量限定で販売されます。

自然素材を巧みに用いるボスコ・ソディの作品



COURTESY OF THE ARTIST AND SCAI THE BATHHOUSE



©2024 BOSCO SODI / PHOTO : SERGIO LÓPEZ / COURTESY OF THE ARTIST AND SCAI THE BATHHOUSE BOSCO SODI
«REFLEXIONES #27» 2020年

1970年にメキシコシティで生まれ、現在はメキシコとニューヨークに拠点を持ちながら、バルセロナやベルリンなどでも創作活動を行なう国際的なアーティストのボスコ・ソディさん。木や土、岩など自然の素材の豊かな質感と鮮やかな色彩を用いた大型絵画で知られ、偶然に生み出される飛び散りや歪みなどを意図的に残しながら、自然の一部を切り取ったかのようなダイナミックで力強い作風が特徴です。

作家と作品の間の精神的な繋がりに焦点を当て、あらゆる概念的な障壁を乗り越えようと探求する彼は、素材の本質的な粗さの中に感情を揺さぶる力が見出されるような作品を多く発表しています。

観る人の想像力を掻き立てる加藤泉の作品



PHOTO : CLAIRE DORN / COURTESY OF THE ARTIST AND PERROTIN



©2024 IZUMI KATO / PHOTO : MITSURU WAKABAYASHI / COURTESY OF THE ARTIST IZUMI KATO «UNTITLED» 2024年

1969年に島根県に生まれ、1998年頃からアーティストとして本格的なキャリアをスタートさせた加藤泉さん。東京と香港をベースに、近年ではニューヨークやロサンゼルス、ロンドン、パリなどでも制作や発表の場を広げています。

子どもが描くようなシンプルで記号的な顔の形に始まり、観る側にさまざまな想像力を掻き立てるような具象的な「ひとがた」をモチーフとした作品を制作。現在は絵画作品にとどまらず、木彫やソフトビニール、布、石、鋳造など、多様な素材を駆使した立体作品も多く取り組んでいます。

「両足院」の副住職、伊藤東凌さんが語る同展の見所とは



『リシェス デジタル』にて連載【人生が豊かになる言葉の選択】を執筆いただいている「両足院」副住職の伊藤東凌さんは、本展が実現に至った経緯について「日本の宗教施設で展示会の場を探していたボスコと加藤さんを、知人のアートコレクターが紹介してくれたことがきっかけとなりました」とコメント。製作過程では「ボスコ・ソディは両足院に1泊して、坐禅と掃除や朝粥を経験しました。作家さんたちの決断が早くて難しいポイントは少なかったものの、共同で特別な御守りを作成した際は、何度か微調整を繰り返しました」と当時を振り返ります。

「本展の見所は何といってもおふたりのプリミティブなパワーです。“今回はお寺にある意味“異物”が加わることで、改めて日本の美を発見してもらいたいです」と、来場者に向けてメッセージをくださいました。

特別拝観は11月2日（土）～17日（日）の期間限定で開催



©2024 BOSCO SODI／©2024 IZUMI KATO／PHOTO：MITSURU WAKABAYASHI／COURTESY OF EXECUTIVE COMMITTEE, “黙：SPEAKING IN SILENCE” EXHIBITION

「黙：Speaking in Silence –Bosco Sodi & Izumi Kato」の特別拝観は、11月2日（土）～17日（日）の期間限定です。晩秋の静かな空気に包まれた「両足院」で、いつもとは異なるアート鑑賞を体験してみてください。

「黙：Speaking in Silence –Bosco Sodi & Izumi Kato」

会期／11月2日（土）～17日（日）

※会期中無休 時間／13:00～17:00（最終入場 16:30）

会場／「両足院」

所在地／京都府京都市東山区大和大路通四条下る4丁目小松町591

特別拝観料／大人 ¥1,000、高校生以下 ¥500（現金のみ）

公式Instagram／@speaking_in_silence_kyoto